

神戸市立図書館蔵忍頂寺務旧蔵本について

川端 咲子

忍頂寺務旧蔵本は、忍頂寺文庫として大阪大学付属図書館に入った以外に、忍頂寺務自身の手によって、手元から離れた本が少なからずある。そのなかでも、神戸市立図書館・成田図書館・天理図書館には、纏まった点数の本が寄贈されている。本稿は、その中の神戸市立図書館に寄贈された忍頂寺務旧蔵本を、図書館の「寄贈図書控簿」を基に報告するものである。

そもそも、神戸市立図書館に忍頂寺務旧蔵の『久恒翁採録』全七十巻の内四十巻分と『阿淡譚叢』二十巻のうち十巻が存在することは、忍頂寺文庫所蔵の『久恒翁採録』の目録に忍頂寺務によって添えられた記述（資料1参照）によって知られていた。また、兵庫口説の一部が寄贈されていることは、黒木祥子氏によって紹介されていた。今回、どれほどの本が神戸市立図書館に寄贈されたのかを確認するため、平成20年3月、神戸市立中央図書館のサービスクに寄贈台帳の調査を依頼した。その結果、以下のような回答と共に、忍頂寺務寄贈以外の本の個人情報すべてを削除した状態の「寄贈図書控簿」の複写を提供していただいた（資料5参照）。

「寄贈図書控簿」を昭和10年1月1日から昭和32年12月31日まで調査しました。昭和13年4月9日に最初の記載があり、昭和21年7月13日に最後の記載がありました。なお、寄贈された図書のうち現在では所蔵していないものもあります。

これによって神戸市立図書館に忍頂寺務が寄贈した本の全貌が明らかに

なった。本報告がなったのも、調査に協力して下さった神戸市立中央図書館のおかげであることをお礼と共にここに記しておく。

寄贈は何度にも渡り、寄贈の時期になんらかの意味合いを見いだすことはできない。寄贈図書の内容についても統一した傾向を見いだすのは困難である。あえて言うならば、神戸・兵庫に関わりのある本の割合が多いことであろうか。ただ、寄贈図書の中には、忍頂寺務の草稿や自身で書写した本が含まれている点で、忍頂寺務の著述活動や集書の様子交友関係などをうかがい知る補助資料にはなりそうである。

以下、「寄贈図書控簿」を基に図書館で現在所蔵されているかを確認して作成したのが次に挙げる「神戸市立図書館忍頂寺務旧蔵本一覧」である。さらに、一覧表には挙げがたい数点の本に関しての詳細情報は【資料1】から【資料3】に別記した。また、【資料4】には忍頂寺務の注記が記されているものについて、それを翻刻した。

なお、神戸市立中央図書館の回答にもあるとおり、「寄贈図書控簿」にある本のすべてを図書館で確認することはできなかった。本の老朽化による廃棄もあつたかもしれないが、昭和13年から平成20年の間に、神戸では、大水害（昭和13年）・神戸大空襲（昭和20年）・阪神淡路大震災大震災（平成7年）による多大な被害があつたことを考えれば、これだけがよく残っていたともいえよう。

神戸市立図書館蔵忍頂寺旧蔵本一覧（「寄贈台帳控簿」より）

（凡例）

- ・以下の表は、神戸市立図書館の寄贈図書控簿を基に作成した一覧表である。寄贈台帳に記載されているのは、寄贈年月日と書名・冊数・価格の三項目である。それ以外の項目は、発表者による補足である。
- ・補足項目のうち、「図書番号」は、神戸市立図書館により付された図書番号である。
- ・その次の項目は、現在図書館に現在所蔵されているか否かを示す。
 - …所蔵確認済み
 - ×…所在不明。
- 蔵書検索並びに図書館設置の図書カードでは確認できないあるいは、確認できるが現物が不明。未…未確認
- ・「種別」は、資料が写本の場合にのみその種別を記した。
 - 写…筆者不明の写本 忍写…忍頂寺務による写本 忍草…忍頂寺務の草稿本
 - 謄…版下不明の謄写版
- ・確認した書誌情報は「備考」欄に記した。
- ・詳細情報が必要と思われるものなどは、【資料1】～【資料4】として別に記した。
- ・判読不可能な文字は で示した。
- ・複写された控簿の寄贈年月日欄がコピーの都合で欠けていて不明な場合に「*」を付した。

	寄贈年月日	図書名	冊数	価格(圓)	図書番号	種別
1	S13.4.9	久恒翁採存	40	20	M00-22	写
(備考) 資料1に詳細						
2	S13.5.11	阿淡譚叢	5	2.5	007-14	写
(備考) 小笠原久恒筆録。冒頭に小笠原久恒の紹介文。資料2に詳細						
3	S13.5.11	辰巳風俗永代談語	1	0.3	91368-23	忍写
(備考) 自筆筆写本。底本不明。「見通三世相」の解題再版。資料11参照						
4	S13.5.11	松のみどり	1	0.1	91146-6	写
(備考) 江戸本町三丁目西村元六。発句集。資料11参照						
5	S13.5.11	華の旅	1	0.1	91146-5	忍写
(備考) 兵庫義天居士。自筆写本。資料4参照						
6	S13.5.11	咄の蔓	1	0.15	771-34	忍写
(備考) 資料4参照						
7	S13.5.11	潮来舟	1	0.5	9119-8	忍草
(備考) 『潮来舟』の草稿。資料4参照						
8	S13.5.11	武家義理物語輪講	1	1.5	91362-12	
(備考) 三田村鳶魚ほか。早稲田大学出版部蔵版。書き入れ等無し。和綴。題箋忍頂寺自筆?						
9	S13.5.11	心中くどき二十種	1	0.1	9119-3	謄
(備考) 謄写本(忍頂寺務筆)。資料3-1に詳細						
10	S13.5.11	改正新貨條例	1	0.1		×
11	S13.5.11	淡路方言資料	1	0.4	007-13	
(備考) 玉松一郎序。昭和8年7月4日刊						
12	S13.5.11	吉原下職原	1	0.2		×
13	S13.5.11	間以合早粹	1	0.1	91368-22	忍写
(備考) 忍頂寺務の原稿用紙。不明の文字は余白部分に考証。資料4参照						

14	S13.5.11	論語町	1	0.1			×	
15	S13.5.11	狂歌戎の鯛	1	0.3			×	
16	S13.5.11	志具禮乃碑	1	0.1	91146-7			忍写
(備考) 自筆写本。法橋十三回忌追全集。原本は高安吸江氏蔵。資料4参照								
17	S13.5.31	Bibliosheca Asiatica Part	1	3			未	
18	S13.5.31	Pocket Companion For Engineers,Architects and Builders	1	3			未	
19	S13.5.31	The Gmporial Steel Words	1	1.5			未	
20	S13.5.31	個齋文集 乾坤	2	1			×	
21	S13.5.31	小學唱歌集 初編一三編	3	0.44	762-38			
22	S13.5.31	入像供養 全	1	0.3	91146-W8			
23	S13.5.31	蔵春洞書目解題	1	0.2			×	
24	S13.5.31	山ばとの聲	1	0.5	M14-21			
(備考) 落合章影著。対象10年4月13日刊。								
25	S13.5.31	校訂播姫太平記	1	1	0041-B-6			膳
(備考) 寛延二年姫路藩で起こった百姓一揆の顛末記。「寛延三初冬日播陽隠士密書」の序文。川島右次著。昭和5年4月28日。播磨書史会会員頒布。								
26	S13.5.31	志士一定文八傳	1	1	0076-5			
(備考) 山口幸三郎著。昭和12年7月10日刊。								
27	S13.5.31	河内国大 郡雁多尾畑村 一ヶ村定りの踊り歌	1	0.5			×	
28	S13.5.31	淡路古城記	1	0.4	007-12			
(備考) 川島右次編集発行。昭和12年10月1日刊。								
29	S13.5.31	老櫻追思	1	0.4			×	
30	S13.5.31	近代歌謡 上方踊り口説集 目次	1	0.5			×	
(備考) カード有り、現物無し								
31	S13.5.31	日高涼臺	1	1	P69-29			
(備考) 日高訥*編輯。昭和5年10月20日刊。六々堂。								
32	S13.5.31	都の春風	1	0.25	29108-2			
(備考) 西村時彦著。明治32年7月28日刊。誠之堂書店。								
33	S13.5.31	古今歌話	1	0.55	9112-64			
(備考) 西村天囚、磯野秋緒編。明治39年10月10日刊。積文社。								
34	S13.5.31	榎木彌左衛門覚書	1	0.8	P11-15			
(備考) 見返しに「忍頂寺様」と墨書。峯岸久治編輯。昭和4年11月3日刊。川越史談会。								
35	S13.5.31	平田篤胤	1	0.45			×	
36	S13.5.31	加越能書籍集覧	1	1			×	
37	S13.9.1	加藤弘之 真政大意 上下	2	1	311-69			
(備考) 加藤弘之講述。明治庚午7月刊。谷山横蔵梓。								
38	S13.9.1	江藤新平 南白遺稿 全	1	0.5	9108-15			
(備考) 江藤新平編纂。明治25年8月3日刊。博文館。								

39	S13.9.1	神奈垣魯文 横濱往来	1	0.5	2912-50		和
(備考) 仮名垣魯文著。明治6年7月刊。萬笈閣發兌。							
40	S13.9.1	角田*撰 孔子履歴考 上下全	1	0.5		×	
41	S13.9.1	開化千字文	1	0.3	728-44		和
(備考) 櫻雨園主人春輔緒言。明治6年8月緒言。三玉堂蔵版。							
42	S13.9.1	加藤弘蔵 立憲政體略	1	0.5	311-W68		
(備考) 加藤弘蔵誠之著。慶応4年7月序。紀伊国屋源兵衛。							
43	S13.9.1	鴻爪痕 前島男爵略歴 郵便創業談	1	0.5	P76-3		
(備考) 市島謙吉著。大正11年5月15日刊。日清印刷株式会社。							
44	S13.9.1	福沢諭吉 通俗國權論	1	0.5	3104-32		
(備考) 「野間蔵書」の印。福沢諭吉著。明治11年8月19日刊。慶應義塾出版社。							
45	S13.9.1	明治二十一年 横須賀港獨案内	1	0.2	6859-25		
(備考) 武内馬溪編纂。明治21年3月19日刊。							
46	S13.9.1	淡路の人形芝居	1	1		×	
47	S13.9.1	花筐	1	0.5	9108-79		
(備考) 「花かたみ」。侯爵夫人前田湊子遺著。大正十二年春、梅堂前田利為の序文。滞仏中に客死した妻を偲んでの書。永山近影編発行。大正13年3月25日刊。審美書院。							
48	S13.9.1	紅蘭遺稿	1	0.5	9112-209		
(備考) 日高栄子編。大正2年刊。							
49	S13.9.1	紀伊郷土誌料圖書展觀目錄	1	0.2		×	
50	S13.9.1	ローマ字 二百十日(夏目漱石)	1	0.2		×	
51	S13.11.26	寫本兵庫くどき	1	1.5	9119-W1		和写
(備考) 資料3-2に詳細							
52	S13.11.26	校本兵庫くどき 昭和十二年度	1	7	9119-W1		和
(備考) 資料3-3に詳細							
53	S14.7.24	白山嵐	1		2193-50		
(備考) 日置謙序文。加賀の落首、落書の整理。副田平治(松園逸人)編。昭和7年10月15日。石川県図書館協会。							
54	S14.7.24	翰墨因縁	2		9208-42		
55	S14.7.24	近衛直麿遺稿 文藝篇	1		9108-31		
(備考) 水谷川忠麿編輯兼発行。昭和10年7月22日刊。近衛家(発行所)							
56	S14.7.24	近衛直麿追悼録	1		P30-13-A1		
(備考) 室淳編輯兼発行人。昭和8年7月22日刊。							
57	S15.1.23	流行吾妻唄 他卅四冊	35		9119-7		和
(備考) 9119-7 俗曲集。資料3-4に詳細							
58	S15.4.19	狂歌百人一首 他48冊	49				和
(備考) 58-1 ~ 58-7。資料3-5に詳細							
58-1	S17.10.21	狂歌阿淡百人一首			9172-W8		貴
(備考) 資料3-5に詳細							

58-2	S17.10.21	増補琴曲濱の砂子			761-2		和
		(備考) 資料3 - 5 に詳細					
58-3	S17.10.21	長歌絃曲舞志らべ			9118-2		和
		(備考) 資料3 - 5 に詳細					
58-4	S17.10.21	どゞいつ葉唄節用集			9118-3		和
		(備考) 資料3 - 5 に詳細					
58-5	S17.10.21	はやり音頭兵庫ぶし			9119-6	×	貴
		(備考) 資料3 - 5 に詳細					
58-6	S17.10.21	聲くらべ 第2編			9118-4		和
		(備考) 資料3 - 5 に詳細					
58-7	S17.10.21	俗曲集	43		9118-1		貴
		(備考) 資料3 - 5 に詳細					
59	S16.5.20	福井懸と港	1	2.5	6859-56		
		(備考) 福井県土木課編。昭和11年5月刊。					
60	S16.5.20	青駒 昭和10.3至5,7,8月	5	2.5		×	
61	S16.5.20	舷舵樓漫筆	1	0.5	7218-71		忍写
		(備考) 鴨鳶散人輯。忍頂寺蔵書章					
62	S16.5.20	鈴木春山の翻訳兵書をあさりて	1	0.2	3903-10		
		(備考) 厚紙の表紙をつけ和綴。元は抜き刷りか。佐藤堅司著。昭和10年5月12日刊。照國會。					
63	S16.5.20	春山鈴木先生傳	1	0.15	P41-6		
		(備考) 厚紙の表紙をつけ和綴。元は抜き刷りか森銑三著。昭和10年5月12日。照國會。					
64	S16.5.20	阿都野橋から住吉へ	1	0.15		×	
65	S16.5.20	岡山の鐘近	1	0.15		×	
66	S16.5.20	隠れたる先覚者三宅友信	1	0.15		×	
67	S16.5.20	落首論	1	0.3		×	
68	S16.5.20	楠木正儀観の精算	1	0.1		×	
69	S16.5.20	生絲金融	1	0.3	659-19		
		(備考) 「未定校生絲金融」。田中棊編。大正13年4月3日刊。					
70	S16.5.20	グラント將軍と我国	1	0.1	2895-44		
		(備考) 東京市役所編。昭和10年7月23日刊。					
71	S16.5.20	務古をどり	1	0.5		×	
		(備考) 0013-1463(0007606279)はH2.2.20の受入印。藤尾鞆二編集。大正14年4月10日刊。聚楽館株式会社。					
72	S16.5.20	扇港をどり	1	0.6	0017-17		
		(備考) 藤尾鞆二編集。大正11年10月3日刊。中検藝妓共同事務所。					
73	S16.5.20	日本外交點描	1	0.2	316-122		
		(備考) 刀禰館正雄著。昭和9年3月15日刊。東京朝日新聞発行所。					

74	S16.5.20	八雲起出雲阿国	1	1.5	9127-251		
(備考)「やくもたついでものおくに」。詩劇。今日出海演出、花柳寿美・市川段四郎主演、S15.5 下旬歌舞伎座で上演。二千六百年奉祝藝能祭用台本。佐藤春夫著。昭和15年7月15日刊。協力出版社。							
75	S16.5.20	海外視察録 第1号	1	0.6		×	
76	S16.5.20	幼年文学第1号	1	0.5		×	
77	S16.5.20	聲曲類纂(岩波文庫ノ内)	1	1.5		×	
(備考)岩波文庫の声曲類纂は忍頂寺寄贈ではない							
78	S16.5.20	有馬ぶし	1	0.15		×	
(備考)有馬ぶしの版本数種確認したが、いずれも忍頂寺寄贈印は無い							
79	S16.5.20	成田山事業年報	1	1		×	
80	S16.5.20	有馬温泉と豊太閤	1	0.1		×	
81	S16.5.20	思草	1	0.5		×	
(備考)Q210-2-10(0200747314)はM44.9.15 受入印。寄贈者無し。佐佐木信綱著。明治36年10月30日刊。博文館							
82	S16.6.1	禹域遊艸	1	0.8	921-142		
(備考)上海紀行。漢文。松田敏著。大正9年10月刊。文淵閣、琳琅閣販売							
83	S16.6.1	往来物展覧會目録	1	0.3	3702-161		
(備考)S10.11.22 ~ 24 成田図書館で開催された展覧会の目録。成田図書館編。昭和10年12月25日刊。							
84	S16.6.1	古楽面特別展覧會目録	1	0.35	701-40		
(備考)帝室博物館編。昭和9年10月刊。							
85	S16.6.1	晃山游草	1	0.7	921-139		和
(備考)遠山澹雲如著。安政丙辰刊。							
86	S16.6.1	懐 録	1	0.85		×	
87	S16.6.1	鑲阿寺小史	1	0.5		×	
88	S16.6.1	? Of Book on Ukiyo-e	1	0.25			未
89	S16.6.1	狂歌集目録	1	0.35		×	
90	S16.6.1	両国咄に出た駱駝の咄	1	0.1		×	
91	S16.6.1	良寛展目録	1	0.1		×	
92	S16.6.1	Trouble-maker in the For East the british Empire	1	0.35			未
93	S16.6.1	Australia and ...	1	0.2			未
94	S16.6.1	The Roll of Dishonour	1	0.2			未
95	S16.6.1	The letters of yssen	1	0.2			未
96	S16.6.1	Switzerland	1	0.2			未
97	S16.6.1	Valais	1	0.5			未
98	S16.6.1	Switzerland	1	0.2			未
99	S16.6.1	Flight to Victory	1	0.85			未
100	S16.6.1	British air Victories	1	0.25			未
101	S16.6.1	往来物分類目録	1	1	3702-132	×	

102	S16.6.1	ウパニシャットより佛教まで	1	4.5		×	
103	S16.6.1	蘭印	1	1		×	
104	S16.6.1	民謡覚書（創元選書 47）	1	1.5		×	
(備考) 389-31(0101145847)は S15.7.24 受入。寄贈印なし							
105	S16.6.1	味池修居小傳	1	0.1		×	
106	S16.6.1	日本演劇史 上中下巻	3	2		×	
107	S16.6.1	巨 山房集 和訳後編	1	0.85		×	
108	S16.6.1	日用百科全書第 6 編 衣服と流行	1	1.5		×	
109	S16.6.1	W of Picture 火戦寫真ニュース	1	0.15		未	
110	S16.*.17	凌霜会員名簿 昭和 16 年用	1	0.8	2819-47		
(備考) 社団法人凌霜會員名簿 昭和十五年十月改版。名簿に「忍頂寺務東京市牛込區市ヶ谷本村町三五」。							
111	S16.*.17	車窓の日本	1	0.85	29106-31		
(備考)「車窓の日本 東海道・近畿の巻(附日光線)」。河野信一著。昭和 15 年 11 月 3 日刊。日本地歴研究会発行。							
112	S16.11.12	出雲に於ける小泉八雲	1	0.5		×	
113	S16.11.12	航空國民讀本	1	0.2	538-B-101		
(備考) S16.10.7 受入印。寄贈印無し。図書館にはこれ一冊。情報局編。昭和 16 年 9 月 5 日刊。							
114	S16.11.12	成田山事業年報 昭和 15 年度	1	1		×	
115	S16.11.12	化学実験 色染傳拔書	1	0.6	5768-25		
(備考) 森本宗吉著。明治 20 年 10 月 10 日刊。駸々堂ほかが発売。							
116	S16.11.12	海から見た事變	1	0.3		×	
117	S17.5.*	The Journal of the Polynesian Society	4			未	
118	S17.6.10	大坂に関する書籍展覧会目録	1	0.2	0292-65		
(備考) 豊仲未鳴著。大正 14 年 4 月 19 日刊。書史会事務所発行。							
119	S17.9.15	篠原水害誌	1	2.5	0012-169		
(備考) 松本米太郎著。昭和 14 年 12 月 10 日刊。篠原協議会。							
120	S18.6.10	岩屋誌	1	0.8	0075-B-2		
(備考) 岩屋町役場編。大正 5 年 7 月 10 日刊。							
121	S18.6.10	清水港概説	1	0.7	6859-35		
(備考) 清水縣廳著。明治 43 年 5 月 15 日刊。警眼社。							
122	S18.6.10	金、物、心	1	2		×	
(備考) 岡野清豪著。昭和 18 年 4 月 15 日刊。全国書房。							
123	S18.6.10	成田山事業年報 昭和十六年度	1	1		×	
124	S18.6.10	井泉句集	1	2		×	
125	S21.7.13	日本香料年報 12 年度版	1	(4)		×	
126	S21.7.13	天理教素描	1	0.5		×	

【資料1】

『久恒翁採存』詳細

朱表紙 子持梓題簽に「久恒翁採存」（忍頂寺氏筆）

全七十冊。阪大・神戸市立図書館・成田図書館に分けて抄造されている。各本初丁に「本書は小笠原久恒老人の筆録なり云…」の序文（印刷）があるが、これは、阿淡譚叢の序文と同文であり、忍頂寺氏の手によると考えられる。本文は原稿用紙に書かれており、原稿用紙枠外に注記がある。注記は、筆跡が本文と同じであることから、小笠原久恒によるものと考えられる。内容は、諸書からの抜き書きで、中でも『風俗画報』からのものが多い。なお、阪大所蔵分の内、「国歌 総目録」（108）冒頭に全体の目録等が、忍頂寺氏によって記されており、そこには以下のような記述が見られる。

一、久恒翁採存	七十卷
内四十卷	昭和十三年四月六日
	神戸市立図書館に寄贈す
	(1~40の目録)
残り三十卷	静村文庫保有す
	印十五冊成田寄付
	昭和十三年六月廿日
	(1~30の目録)
一、阿淡譚叢	二十卷
内十卷	禾舟文庫へ寄贈す
	昭和廿年住吉にて焼失
十	
内五卷	神戸市立図書館へ寄贈す
一、稲田記録	五卷
	神戸図書館寄贈す

一、北海道関係文書 二卷
成田図書館へ寄贈す

右の記述の内、『阿淡譚叢』は【資料2】の所で詳細を記す。『稲田記録』については、神戸市立図書館の「寄贈図書控簿」に記載が無く、所蔵の確認もできていない。以下に目録を挙げる。

「目録」

- 神戸市立図書館所蔵分
- 1 太古の歌謡 M00-1-22
 - 2 室町時代の小唄 M00-2-22
 - 3 平曲 M00-3-22 冒頭数頁分破損
 - 4 幸若 M00-4-22
 - 5 曲舞 M00-5-22
 - 6 謡曲 M00-6-22
 - 7 十二段草紙 M00-7-22
 - 8 浄瑠璃 M00-8-22
 - 9 操と浄瑠璃 M00-9-2
 - 10 撰津第掾共話 M00-10-22
 - 11 女義太夫 M00-11-22
 - 12 芝居 M00-12-22
 - 13 各地の芝居 M00-13-22
 - 14 芝居年中行事 M00-14-22
 - 15 声色 M00-15-22
 - 16 軍談講釈 M00-16-22
 - 17 新内節 M00-17-22
 - 18 琵琶 M00-18-22

- 19 虚無僧 M00-19-22
 20 尺八 M00-20-22
 21 筑紫琴、八幡琴 M00-21-22
 22 一絃琴 M00-22-22
 23 明清楽 M00-23-22
 24 めりやす M00-24-22
 25 大黒舞 M00-25-22
 26 鳥追歌 M00-26-22
 27 孟蘭盆考 M00-27-22
 28 盆踊 M00-28-22
 29 " M00-29-22
 30 七夕祭唄 M00-30-22
 31 小姓踊 其他 M00-31-22
 32 俄 M00-32-22
 33 神事唄 M00-33-23
 34 巡禮唄 M00-34-22
 35 子守唄 M00-35-22
 36 手鞠唄 M00-36-22
 37 同 M00-37-22
 38 追分唄 M00-38-22
 39 同 M00-39-22
 40 安来節 M00-40-22
- 以下は、阪大(請求番号あり)ならびに成田図書館()に寄贈されたもの。
- 1 神楽の由来 ()

- 2 歌垣 ()
 3 猿楽 ()
 4 田楽舞 ()
 5 白拍子、延年舞 ()
 6 空也念佛踊 ()
 7 女歌舞伎 ()
 8 人形芝居 ()
 9 人形遣ひ ()
 10 舞台道具 ()
 11 箏曲 ()
 12 三味線 ()
 13 近松研究 ()
 14 近松以後 ()
 15 説教節 ()
 16 祭文 ()
 17 流行唄の変遷 ()
 18 弄齋、投節、その他 ()
 19 半太夫、河東 108-2
 20 文弥、一中 108-4
 21 豊後節 ()
 22 振付 ()
 23 壬生狂言 ()
 24 踊歌 ()
 25 獅子舞 ()
 26 猿楽 ()

- 27 潮来節、都々一 108-3
- 28 住吉踊、其他 ()
- 29 歌沢節 108-5
- 30 国歌 総目録など 108-1

【資料2】

『阿淡淡叢』詳細

全五冊。一冊だけ保護表紙付き。外の四冊は一つの帙に入る。
 この本については、忍頂寺文庫蔵分の『久恒翁採存』総目録に、全二十巻で、内十巻は禾舟文庫（川島禾舟）へ寄贈したが昭和二十年に住吉で焼失したとある。川島禾舟宅が神戸の空襲で被災した折りに焼失したのである。残りの十巻について、「内五巻 神戸市立図書館へ寄贈す」として、「五」の部分に線を入れて、「十」と書き直している。しかし、「寄贈図書控簿」を確認すると、『阿淡淡叢』は五冊のみ寄贈されている。残り五冊については所在不明である。

各本の冒頭に『久恒翁採存』と同文の序文がある。内容は、阿波・淡路に関する記事を諸書から書き抜いたもので、以下にその詳細を記す。（図書館の已番号順に並べる。実際の順番は、各本末尾の数字か。）

1 冊目（末尾に）007-14	
五 柑橘	大阪府立農事試験場長三木泰治
六 阿波宮倉のあやあや祭	長尾楓憲
七 阿波の大凧	大正十一年六月号名物及特産読者お国自慢欄内
八 鳴門若布	同上諸国名物記事

九 徳島の盆踊 （一名「阿波の狂人踊り」）	大正十一年七月五日大阪朝日新聞発行週刊朝日夏期特別号
十 砂濱の怪物	大正十一年七月五日大阪朝日新聞発行週刊
十一 極楽の出羽島	同上新聞
十二 千年前の石槨	大正十三年六月四日大阪朝日新聞「淳仁陵造営の福良磨の墓か」
十三 阿波の家老九郎兵衛	大正十一年七月十日発行大阪毎日新聞サデー毎日特別号
十四 供養の蛤	大正十一年八月名物及特産号
十五 阿波の鳴戸和讃	佛教各宗和讃一千題
十六 阿波の鳴門	
十七 祖谷の蘿橋	以上二項 塚麗水著日本名勝記下巻一〇六及一六二頁
十八 狸合戦	
十九 阿波の鳴門	水島爾保布
二十 沿岸の名所旧跡	以上二項大正八年四月新家庭春の旅
二十一 石器時代の遺跡御見学	大正十一年十一月廿八日大阪毎日新聞夕刊
二十二 阿波の天然記念物	
二十三 呼石	
二十四 阿波山城谷村の旧特殊民	以上三項大正十年十一月一日刊民族と歴史第六巻第五号
二十五 曾我部氏逝去	（大正十三年三月十五日の新聞記事の切り抜き）

二十六	内務省より四日左記社の昇格を達示した	大正十二年五月六日大阪朝日新聞
二十七	狸に笛を教わった話	大正十二年六月一日刊楽友第一巻第一号
一	蜂須賀至鎮書信	大正二年刊九州温泉海水浴案内二百頁 (このあとに、久恒の記述有り)
二	那波魯堂	大正二年九月卅日刊姫路名所案内
三	豊竹生駒太夫	明治卅九年九月一日刊趣味第一巻第四号、義太夫を聞く耳の掃除とする其一項
四	井内秋斎	
五	岡田寧	
六	公文芦淵	
七	近藤泰山	
八	貫名海屋	
九	服部嵐雪	
十	梅痴	以上七名は大正七年五月再版松雲堂編 日本書畫名家辞典
十一	うし濱	大正十四年一月一日中央公論 目録泉記 述千牛講
十二	徳島線	以上汽車の窓から西南部
十三	淡路遊覧案内	
十四	淡路島	大正十二年七月刊山岳旅行案内
十五	四国	同上
十六	淡路岩屋	大正三年六月鉄道院鉄道旅行案内百十六頁
十七	對岸淡路洲本	

		(泉州淡輪對岸)
十八	陽松庵	大正十二年六月刊近畿の旅 四九二、五八二、五八八頁
十九	淡路ト讃岐航路案内	撰陽商船株式会社
2冊目(末尾に)		
十四	阿淡俚謡	雑謡 月の唄、船乗初歌、やんれ節(一名ほめ)、すつたらばう、お福、田植歌、麦打歌、麦搗歌、おすがた節、草取歌、盆神踊歌(入葉・孫八・御神踊・御屋敷・御屋形・千松・燕・御門・御宝・大黒)、盆踊歌、大臣踊、鶴上踊、大黒踊、住吉踊、金高踊、長者踊、姫子踊、鎌倉踊、鼓踊、神踊、烏帽子踊、高麗踊、牛若踊、屋形踊、若殿踊、殿御踊、早川、川水踊、お庭踊、具足踊、船の踊、讃岐踊、まかしよ節、金比羅道中記、八百物くづし、餌屋音頭、初摺節、米蹈歌、米搗歌、地搗音頭、木遣節、舩歌、住吉、君がよは、蹈歌、由良の港、油絞歌、酒造歌、茶摘歌、藍こなし、伊勢長節、伊勢節、伊勢音頭、やつとこな節、水取り 船乗初歌以下水取り迄文藝委員会編纂俚謡集 案内記より
	阿波盆踊唄	
	俚謡 (廿六)	
	阿波	
	盆踊	
	四国俗謡	

淡路の俗謡	
阿波盆踊	
天神祭檀尻歌	

3冊目（末尾に）007-14

二十五 阿波吟詠	阿波の国に関する万葉以下の和歌、漢詩、俳諧
----------	-----------------------

4冊目（末尾に）007-14(001031496)

二十一 阿波の鳴門	大正十年三月日再版博文館発行謡曲名所めぐり
二十二 伊弉諾神社	同上
二十三 謡曲「淡路」	明治四十一年三月十四日発行大和田建樹著謡曲評 釈第七巻
二十四 鳴門大観	本大観は大正九年九月発行編者国友徳芳博進館発行

5冊目（末尾に）007-14

十六 旅硯	明治四十五年三月二十五日発刊精華堂
二 避暑旅行案内	大正十一年七月野球界社発行
三 大阪徳島間迄	大正十一年八月名物及特産号
紅丸で旅行の記	
四 淡路島巡り	大正九年六月十版日がへりの旅路
五 淡路の風光	大正七年野田文六著近畿名所一日の遊覧
六 徳島航路案内	大正十一年十月発行、大阪商船株式会社編
七 淡路の一日	大正十一年八月一日民族と歴史第二巻第二号六九頁

【資料3-1】「神戸市立図書館所蔵 忍頂寺氏寄贈和本一覽」

9 心中くどき二十種(919c)半紙本一冊

謄写本。1オ1ウに目録。1ウに凡例

一、第一輯として心中くどき一八章、間男騒動くどき一章、亭主殺しくどき一章を収録す。

一、イ、ロ、ハ、ニ符合の四章は「近代歌謡集」或は「瓦版のはやり唄」所載なり。参考のため単に名前を掲ぐ。

一、索引の便宜上、女の名を先にし、男の名を後にす、併せて地名をも記す。

（所収歌謡）

・上州しんぢうくとき おりき吉治心中 上下

註 小本一冊 四枚綴七行、表紙に「新撰しんぢうくとき」と有り

版元、年代未詳

・権どふおふさ重左衛門心中くどき あだ文句やんれふし 上下

註 中本一冊 四枚綴八行 表紙に「しん板権どふおふさ重左衛門心

中くどき」と有り 版元、年代未詳

・品川宿坂本おきくノ新之助しんじうくとき 上下

註 小本一冊 四枚綴九行本 表紙に「新板品川宿坂本おきくノ新之助

しんじうくどき哥政板」と有り 年代未詳 原本禾舟文庫蔵

・おこま小太治しんぢうくとき かりまめしんちう 上下

註 中本一冊 六枚綴八行 表紙に「新板おこま小太治しんぢうくど

き 中治板」と有り 年代未詳

・松戸心中ふし おとわ富治くどき 上下

註 小本一冊 六枚綴九行 表紙に「新版松戸心中ふしおとわ富治く

- ・とき」とあり 版元年代未詳
- ・矢萩金次おとくしん中 上下
 - 註 小本一冊 六枚綴十行 表紙に「しん板矢萩金次おとくしん中山 松」とあり。年代未詳
- ・おくめ佐傳治しんぢうくどき 上下
 - 註 中本一冊 八枚綴九行 表紙に「新板おくめ佐傳治しんぢうくどき」と有り 版元年代未詳 落書に明治十年の文字記さる
- ・お吉弥助岩部心中くときぶし 上下
 - 註 小本一冊 六枚綴九行 表紙に「しん板お吉弥助岩部心中くどきぶし 小米板」とあり 年代未詳
- ・下小堀ま男そどう 源右衛門佐兵衛 ま男ころしそどうくどき 上下
 - 註 小本一冊 六枚綴九行 表紙に「下小堀ま男そどう源右衛門左兵衛」とあり 版元年代未詳
- ・信州原村牛三郎おくま心中くどき 上下
 - 註 中本一冊 八枚綴七行 表紙に「信州原村牛三郎おくま心中くどき」と有り 版元未詳 年代は明治十五年頃
- ・ちゞぶ大宮在三澤村心中くどき おかね和三郎心中くどき 上下
 - 註 小本一冊 五枚綴八行 表紙に「ちゞぶ大宮在三澤村心中くどき 有り 有り 有り」
 - 明治二十年九月御届 東京馬喰丁吉田小吉 價一錢五リン」と
- ・東京かきがら丁心中くどき おまつ竹二郎心中 上中下
 - 註 小本一冊 五枚綴八行 表紙に「東京かきがら丁心中くどき 明治二十一年二月御届 東京馬喰 出版人吉田 價壹錢」とあり 原本下の部二枚落欠
- ・人間郡高倉村ていしゆころしくどき 上中下
- 註 小本一冊 五枚綴八行 表紙に「明治二十一年八月御届 人間郡高倉村ていしゆころしくどき 東京馬喰丁三丁目出版人吉田栄吉 價壹錢五リン」と有り
- ・かな川縣上成木村てつぼう心中 おさく清次しんぢうくどき 上下
 - 註 小本一冊 五枚綴八行 表紙に「かな川縣上成木村てつぼう心中 明治廿一年九月御届 東京馬喰丁三丁目出版人吉田栄吉 價壹錢五リン」とあり
- ・大宮上尾の間奈良の瀬戸村心中くどき おゑい仲次しんぢうくどき 上下
 - 註 小本一冊 五枚綴八行 表紙に「大宮上尾の間奈良の瀬戸村心中くどき 明治二十一年十一月一日御届 東京馬喰丁三丁目吉田栄吉版 價壹錢五リン」と有り
- ・中仙道新町驛心中くどき おとよ紋吉しん中くどき 上下
 - 註 小本一冊 四枚綴八行 表紙に「中仙道心中くどき 明治二十二年二月御届 東京馬喰丁三丁目出版人吉田栄吉 大當」とあり
- ・川越在澁井福岡心中くどき 上下
 - 註 小本一冊 五枚綴八行 表紙に「川越在澁井村福岡心中くどき 明治二十一年十二月十日御届 東京馬喰丁三丁目吉田栄吉版 價一錢五リン」とあり
- ・常盤村字玉造助治郎お芳情死やんれへふし
 - 註 小本一冊 六枚綴八行 表紙に「新版常盤村字玉造助治郎お芳情死やんれへふし」表紙裏側に「明治二拾二年十一月二十一日印刷 出版人千葉縣平民山口仙右衛門下埴生郡成田町第四百三番地」など記さる
- ・むさし吉野本郷村心中 おかよ高吉心中くどき 上下
 - 註 小本一冊 四枚綴八行 表紙に「むさし吉野本郷村心中 明治廿

三年十月御届 東京馬喰丁三丁目出版人吉田栄吉 價五錢五リン」と有り

・川越在嶋田村しんぢうくどき おこの龜吉しんぢうくどき 上下

註 小本一冊 四枚綴八行 表紙に「川越在嶋田村しんぢうくどき

明治廿三年十一月御届 東京バク口丁三丁目出版人吉田栄吉 價

五錢五リン」と有り

【資料3-2】

51 寫本兵庫くどき(6119-W1)半紙一冊

忍頂寺藏書章。写本。青い表紙(忍頂寺文庫によくあるタイプ)。題

箋は忍頂寺氏による。1才に目録。版本の写しらしい。収載曲は以下。

治兵衛/小はる 天あみしま紙尽・那須の与市八島の手柄尽し・永
さきゑびや・源平布引瀧くまのふし・四十七日石づくし・あわの
いぞく甚くぶし・赤間せき・山田の 甚九ふし) 草冠に路、目

録では露)・鎌倉山・小栗判官車づくし・大工宗兵衛/油屋お種

甚九ふし・熊谷敦盛扇尽し・西国大名船印兵庫くどき・下・金屋金
五郎・おさん茂兵衛曆尽し・下阿波の海賊甚九ふし・孫三/お早

間男吉兵衛・おはん/長右衛門 浮名桂川・おそめ久松松尽し・下

おそめ久松・揚巻助六熊野ぶし・お梅傳治郎

【資料3-3】

52 兵庫くどき(6119-W2)半紙一冊

忍頂寺藏書章。17種の兵庫くどきの合冊。題箋は忍頂寺氏による力。

表紙見返しに目次(忍頂寺氏筆)。詳細以下

・新ばん大つゑぶしはやりおんど いしどう丸上の巻 ひやうくどき

註 大坂 わたや喜兵衛 内題「石とう丸上のまき」

・新板はやりおんど 石どう丸下の巻 ひやうくどき

註 大坂 綿屋喜兵衛 内題「石とう丸下のまき」

・ひやうくどきはやりおんど 長崎ゑびや甚九

・新板はやりおんど おかる/見庵恋のめいぶつ くまのぶし

註 大坂 豊後屋伊兵衛 内題「おかる/見庵 恋のめいぶつ」

・新ばんはやりおんど おなつ/清七 ひやうくどき

註 大坂 豊後屋伊兵衛、いづみや利八 内題「おなつ/清七 はや

りおんど」

・新はんはやりおんど おはつ/徳兵衛 ひやうくどき くまのぶし

註 大坂 ぶんご伊兵衛 内題「おはつ徳兵衛くまのぶし」

・ひやうくどき くまのぶし

おはん/長兵衛 はやりしやうが 桂川いせおんど

註 内題「桂川くまのぶし」

・しんばんはやりおんど つばね岩藤/中老尾上かゝ見山 ひやうくどき

註 大坂 豊後屋伊兵衛 内題「かゝ見山くまのぶし」

・新はんはやりおんど 河内の七くはいき ひやうくどき 甚九ぶし

註 大坂 豊後屋伊兵衛 内題「かわちのおふり七くはいき」

・大新ばんはやりおんど 佐倉宗五郎 ひやうくどき じん九ぶし

註 大坂 麩屋源右衛門

・鈴木/主水 白糸口説 大新板はやりおんど くまのぶし 上ノ巻

註 大坂 麩屋源右衛門

・鈴木/主水 白糸口説 新ばんはやりおんど 下巻

註 大坂 麩屋源右衛門

・ひやうごくどきはやりおんど 酒づくし たんばノさかや 浮名の諸白
註 大坂 内題「やうしころし」

・新はんはやりおんど たんば与作 くまのぶし

註 大坂 豊後屋伊兵衛 内題「たんば与作」

・ひらかな盛衰記 上は松づくし下は梅づくし ひやうごくどきくまのぶし

註 内題「ひらかな盛衰記はやりおんど」

・はやり當流はや口うたせおんど 京都名所盡

・新板はやりおんど よし経ノ千本櫻 鼓づくし ひやうごくどき

註 大坂 豊後屋伊兵衛 内題「義経千本櫻鼓づくし」

【資料3-4】

57 「俗曲集」(9119-7)

各本赤い保護表紙、題箋に手書きで書名(以下不明なときは手書き題

箋を書名とする)。いずれも忍頂寺氏の手によるか。以下詳細

・流行吾妻唄 註 爪弾楼(表紙)

・浄るりノさわり入 よしこの

註 春風亭柳絲(序文) 嘉永七寅春大坂 河内屋平七

・松のふた葉

註 猿赤山人戯撰 文政二年三月(序)金陵 紅艷亭・水明楼蔵梓

内題「よしこの松のふた葉」

・葉つたしのびごま

・富本都々々

・新製五もくどゝゝ一 註 放界の遊人やかなしるす 丙辰初春(序文)

・新板系らみどゝゝ一 註 初編二編合綴

・しんばんころいきどゞいつぶし 註 風流山人系らむ(巻末)

・夜のはな廓都々々一 註 保護表紙無し。

・げいしや都々逸 註 保護表紙無し。

・浮世都々逸 註 保護表紙無し。

・新作ど々一 註 保護表紙無し。

・都々一圖會

・文句ノ入り 都々一惣まくり 註 吾妻雄兔子(序文)

・豊ざん津じ宇羅詩伊里どゞ逸

・なみかた辻うら都々いつ 註 礫川漁父(序文)

・浮世辻うらとゞ逸

・東海道ノ五十三次 註 壱冠都々々一 竹葉舎 瓶(序文) 裏表紙見返しに「嘉永六癸丑

年板」忍頂寺氏筆?

・名所穴さかし 開花どゞゝ一 註 西沢堂

・漢語都々逸 註 大坂 綿喜

・都々逸の踊 註 忍川 (序文) 淡路静村文庫

・どゞいつとつちりとん郭の花かえり咲

註 大塚堂可一(序文) 江戸 藤屋音次郎

・しん板都々一圖會 註 二編(柱記)

・端唄度々一圖會

・ゑびちや源氏はうた都々々一 註 江戸 品川屋久助

・しんはんはうたどゞいつ

・新撰別品はうた都々々一 註 石川亭板等集撰

表紙見返しに「本書中、都とあるは都々逸、東とあるは東小唄なるべし。東小唄の所載あるもの稀なり。今此に一例を見るを得た

り」(忍頂寺氏注)

・しんぱんはうた都々一

・しんぱんはうたど〜一 二へん

・ど〜いつはうたあだくらべ 註 序文は「都々一花月集序」

・其所縁源氏都々一

・「百人一首都々一」

・浄瑠璃佐和里都々一 註 大坂 綿屋喜兵衛

・浄るりさわり都々逸 註 秋葉俗謡文庫

【資料315】

58 狂歌百人一首他

「寄贈圖書控簿」では、昭和15年の項目に、表に挙げたとおり「狂歌百人一首外48冊」とある。該当すると考えられる書籍の図書カードには、「昭和17年10月21日寄贈」と記されている。控簿にある「狂歌百人一首外」と以下に挙げる58.1〜7は、もしかしたら別物なのかもしれない。

58.1 狂歌阿淡百人一首(9172-W8)

大本一冊 旭櫻園春根書、六樹園老師撰、岳亭定岡画 天保三年壬辰

十月 大坂 千里亭扇屋利助 見返しは「阿淡狂歌百韻一首」

58.2 増補琴曲演の砂子(761-2)

横中本一冊 文化二乙丑歳孟春 尾州 本屋久兵衛

58.3 長歌絃曲舞志らへ(9118-2)

横中本一冊 浅野梅谷編、南遊亭芳重画 嘉永二年酉正月 東都須原

屋茂兵衛ほか三都六軒

58.4 「どいつ葉唄節用集」(9118-3)

中本一冊 金龍山人編(初編・二編序文) 丁巳はつ春(序文) 大坂河内屋茂兵衛東都山口屋藤兵衛ほか二都十一軒 「初編」二編合冊 題箋剥離中。耽奇郎文庫。

58.5 はやり音頭兵庫ぶし(9119-6)

* 所在不明

58.6 「聲くらべ」 第2編(9118-4)

中本一冊 (明治二年刊)見返し墨書

見返しに「聲くらべ」第二編也。若葉屋三楽批評と初編に記さる

(忍頂寺氏注)

58.7 俗曲集(9118-1) 赤の保護表紙。以下に詳細

・當世はやり甚句 註 吾妻雄兔子(序文)

・いろはしり取よしこの

・新大津画ふし 註 末の唄が役者尽くし。年代がわかるか?八代目

・開化新作大津糸ぶし 式号 註 東京 辻岡屋文助

・婀娜文句大津絵盡 貳編 註 万石亭文賀(序文) 山田屋庄?

・おほつ糸ぶし 註 春風亭柳絲 大坂 河内屋平七

・大津糸ぶし 註 大坂 天満屋嘉兵衛

・大津画ぶし 三篇 註 大坂 綿屋喜兵衛・綿屋徳太郎

・新ばん大つ糸ぶし 註 表紙見返しに目録

・新板大津絵ぶし 註 高砂亭新松(序文)

・新板大津絵ぶし 註 東京 品川屋浅治郎

・しんぱん大つ糸ぶし 註

・大新ばん大津糸ぶし 二篇 註 大坂 綿屋喜兵衛・綿屋徳太郎

・新撰大津絵ぶし

註 泉通舎房丸(代序) 辛酉のはつ春(代序) 東都 吉田屋文三郎

・新撰大津絵ぶし

註 花界街中大流行 新文句大津絵ぶし 註 大坂 前田喜兵衛

・新文句大津絵ぶし 註 東京 品川屋朝治郎

・i ma ha ya ri no no tsu yo fa shi いまはやりおつゝゑぶし

註 保護表紙裏見返し「辻うら大津絵ぶしと重複せり」(忍頂寺氏注)

・ひとつゑり大津絵ぶし

・とつちりとん節

註 新板ゑんむすびとちりとん上下、新板心いきとちりとん上下、と

つちりとん上下(満類吉板)、しんばんとつちりとん上下(吉田

屋小吉板)、十二月とつちりとん上下(満留吉板)の合綴

・はやりふしえとうたしんもんくどゞいつ 枕能言の葉

註 徳和歌五萬歳 瑤銭樹堂 娛息戈藏板

・伊達もやうはうたの新形 てうし附かふた

・葉つた乗合船 註 東京 品川屋朝治郎

・端つたのふき 註 表紙見返し「惣まくりはうた大いちざ」

・今様きやりくずし 註 岳亭梁左戯作

・葉奈以嘉多 註 鶴亭秀賀(序文)

・ゑらみもんく葉うたいとの

・七夕のうたづくし

・新板さくらエ引かへうたいなせふし 式篇 註 骨董屋鈍通子撰

・葉唄恋の歌浄 註 東京 品川屋朝治郎

・銭占意気奈好此 註 游子軒金鱗(序文)

・色の飯たく花の大津絵 註 石川堂梅茶撰

・相撲ぢんく

註 岳亭主人出子散人

裏表紙見返しに忍頂寺務の注記「瓦板の流行唄」一九二に「若樹

文庫に錦絵表紙の畫入本濱上るり都々一けんがある。それは出子

散人作芳盛狂畫とあつて、作者を隠してあるが巻尾の半 に出格

子を描き假名垣魯文といふ標札が出してある。是で出子散人は魯

文なのが知れた。

・流行すまふぢんく 註 東京 品川屋朝治郎

・開化相撲ぢんく 註 丁付けから二冊の合冊?

・辻うら大津絵ぶし

註 礪川の 父(序文) 吉田屋小吉 見返し「流行づくし」

・はうたどゞいつ大津絵稽古本

註 江戸 松坂屋寿梓 見返し「開化大津絵ぶし じゃうるり入」

・開化大津絵ぶし

・開化大津絵ぶし

註 永島辰五郎録 明治二十年八月五日 東京 木屋小森宗次郎

・新板絵本大津絵ぶし

・新ばん大つゑぶし

・しんばん大つゑぶし

・出来ました五題大津絵 註 二代目鈍通子文魚 淡路静村文庫

【資料4】忍頂寺務の注記

4「松のみどり」裏表紙見返し

註 本書半紙本一冊、紙数十一枚、「松の翠」と題する由なれども、原本

第箋を欠く。安永の十八大通の一人、大口屋金翠の六十賀を記念する配本

なり。岡本綺堂氏本年遺曆につき原本を贈呈し影写本を手許に留む（昭和七年秋）

5 「華の旅」最終丁と裏表紙見返

註 本書半紙本一冊、紙数廿一丁本序文廿一、寛政六年秋

大魯の友人清夫、義天居士の追善集なり。清夫は兵庫の人にして、追悼句によりば、今年の春、三月廿七日、年六十にて歿せしが如し。

「ひむろ」第八十七号に
八年八月に

「佐久間し、通称瓜屋忠七、名は武義、寛政六年、二月二十七日歿、兵庫眞光寺本坊に葬る、法名、華香院称阿義天居士」

家は木戸町で雑穀の中貝を営んで居つた。相当の金持で地面や家が所々あつた。墓はまだ発見せられぬ

6 「咄の蔓」

芝翫ノ鼻頂咄の薦「文化十二年十一月吉日、浜松歌国・桃里、大坂書林文金堂・千里亭梓、「本書は三切横本、絵二枚、本文廿七枚、絵は松峰と署名せる鶴の絵、同松の絵、桃溪竹の絵、桃里梅の絵、次に本文なり」

7 「潮来舟」裏表紙見返し

本書は「潮来舟」草稿なり。昭和九年三月東京出遊紀念として若干部を印刷して知人に頒布せり

13 「間以合早粹」：不明の文字は余白部分に考証がある。

末尾に「本書は上方洒落本の一にして、明和六年の板行といふ、小本一冊、大きさ縦十五センチ五、横十センチ十九、紙数は序文二丁、本文廿五丁な

忍頂寺務

れど、原本或は首尾に落丁あるやも保し難し。

16 「志具禮の記」裏表紙見返し

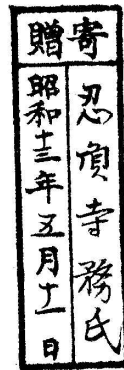
註、半紙本一冊、紙数十三丁、貞峨十三回忌追善のため、潘山の編集せるもの、寶曆四年冬刊行か、原本高安吸江氏蔵。

貞峨は寛保二年十月四日歿、享年八十

【資料5】寄贈印

【資料6】寄贈台帳の例

（昭和13年5月11日分）



受領 月日	書名	冊数	価格	寄贈者氏名
✓	辰風俗水代林語		30	忍頂寺務
	松のふどり		10	
	華のうた		10	
	出のうた		10	
	津田茶		50	
	忍頂寺務の雑語		10	
	心中、どま二十種		10	
	改訂新装例		10	
	法門方言語料		10	
	苦行下職		20	
	別似合字辨		10	
	歌詠		10	
	歌詠の巻		20	
	志具禮の序		10	
	忍頂寺務の雑語		10	